

事務事業マネジメントシート(令和5年度実績と令和6年度計画)

令和6年8月16日更新

事務事業名		たばこ税課税事務				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連		<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連		<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合 計画 体系	政策	1 自治の健康				所属部		市民生活部		課長名	森田 健二
	施策	3 財政の健全化				所属課		税務課		担当者名	赤野、高演
	施策の柱	14 自主財源の確保				所属班		市税班		(内線)	1125、1126
予算科目	会計一般	款2	項2	目2	事業連番11126	根拠法令	地方税法、合志市税条例				
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 5年度で終了 <input type="checkbox"/> 5年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返	(開始年度 18 年度) ~ 年度)			
					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度						

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・地方税法（昭和25年）に基づき、市たばこ税を適正に課税する事務。 ・納税は、納税義務者（たばこ製造者・輸入業者・卸売販売業者）が自ら税額を計算し、申告額を納税する「申告納付」で行われている。※たばこの小売価格の中に市たばこ税が含まれており、実際にはたばこを買う人が負担している。 ・高齢化の進展、健康意識の高まり、喫煙規制の強化、増税・値上げ等により販売本数は減少していたが、令和4年度からは近隣の工業団地造成等の影響により増加傾向にある。 ・旧3級品の税率が平成28年度から平成31年度にかけて段階的に引き上げられ、それに伴い手持品課税が開始された。 ・加熱式たばこの課税強化（平成30年度～令和4年度）及び紙巻たばこの税率の引き上げ（平成30年度～令和3年度）が実行されました。 ・また、令和5年10月からたばこ税の電子申告を開始した。
【業務の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月 ①納税義務者からの市たばこ税申告書の受付・審査（内容確認） ②納付額の調定 ③県から送られてくる販売本数明細書との突合
【主な予算費目】	事業費なし（人件費のみ）
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動) (DO)	6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
市たばこ税申告書の受付・審査・納付額調定を行った。 また、令和5年10月からたばこ税の電子申告を開始した。	市たばこ税申告書受付・審査・納付額調定を行う。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	予算の主な増減の理由
ア: 申告件数	(単位) 件 予算なし
イ:	
②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位) 人
ア: 納税義務者数	人
イ:	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) 件
市たばこ税の適正な賦課及び調定を行う(適正な申告納付)	件
→ イ:	
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠	総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
申告者は、たばこ製造者・輸入業者・卸売販売業者であるため、前年度実績を目標値として設定した。	0

(2)各指標・総事業費の推移			単位	3年度実績(決算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	5年度実績(決算)	6年度目標(当初予算)	7年度予定	8年度見込	9年度見込
① 活動指標	ア: 件	イ:	39	32	32	37	37	37	37	37	37
② 対象指標	ア: 人	イ:	5	5	5	6	6	6	6	6	6
③ 成果指標	ア: 件	イ:	39	32	32	37	37	37	37	37	37
投 入 量	事 業 費 内 訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他	千円								
		繰入金 一般財源	千円								
		(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外・特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人 件 費	正規職員従事人数 延べ業務時間	人 時間	6 135	6 110	6 130	6 110	6 130	6 130	6 130	6 130
		(B) 人件費計	千円	527	418	517	400	517	517	517	517
		トータルコスト(A)+(B)	千円	527	418	517	400	517	517	517	517

事務事業名	たばこ税課税事務	所属部	市民生活部	所属課	税務課
-------	----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は5年度の事後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因 ↗】
	② 6年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由 ↗】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策 ↗】 納稅義務者数、毎月の申告件数ともに増加傾向である。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由 ↗】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由 ↗】 納稅義務者による「申告納付」のため、成果の向上余地がない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由 ↗】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由 ↗】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由 ↗】 地方税法及び市税条例等の規定に基づく事務であり、類似事業はなく他に手段がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗】 事務費を計上していない。(該当しない)
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗】 市たばこ税は申告納付であるため、最小限の人員で事務を行っており、業務時間の削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由 ↗】 地方税法及び市税条例等の規定に基づく事務であり、受益機会・費用負担は公平・公正である。
	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由 ↗】 地方税法の規定に基づく市の固有業務である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

健康意識の高まり、喫煙規制の強化、増税による値上げなどの影響で、将来的には喫煙人口が減少していくことが予想され、市たばこ税も減収が見込まれるところである。しかし、ここ数年の収支は、近隣の工業団地造成等の影響もあり、増加している。今後も地方税法の規定に基づいた適正な事務を執行し、歳入の確保を図っていく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

- (1) 今後の事業の方向性（改革改善案） ・・・複数選択可

廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善（有効性改善）
事業のやり方改善（効率性改善） 事業のやり方改善（公平性改善）
現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

- (3) 改革 改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策